



## **SCV** の導入要件

### SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.8

NetApp

January 18, 2024

# 目次

SCV の導入要件 .....	1
導入の計画と要件 .....	1
ONTAP権限が必要です .....	6
最小限の vCenter 権限が必要です .....	9

# SCV の導入要件

## 導入の計画と要件

仮想アプライアンスを導入する前に、導入要件を確認しておく必要があります。導入の要件を次の 5 つの表に示します。

### ホストの要件

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入を開始する前に、ホスト要件を確認しておく必要があります。

- SnapCenter VMware プラグインは、プラグインを使用して Windows システムと Linux システムのどちらのデータを保護しているかに関係なく、Linux VM として導入されます。
- SnapCenter VMware プラグインを vCenter Server に導入する必要があります。

バックアップスケジュールは、SnapCenter VMware プラグインが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenter では、vCenter が配置されているタイムゾーンでデータが報告されます。そのため、SnapCenter VMware プラグインと vCenter が異なるタイムゾーンにある場合は、SnapCenter VMware プラグインダッシュボードのデータがレポートのデータと同じでないことがあります。

- SnapCenter VMware プラグインは、名前に特殊文字が含まれるフォルダには導入しないでください。

フォルダ名には、\$ ! @ # % ^ & ( ) \_ + { } ' ; , \* ? " < > | という特殊文字は使用できません

- vCenter Server ごとに、個別の SnapCenter VMware プラグインインスタンスを導入して登録する必要があります。
  - 各 vCenter Server は、リンクモードかどうかに関係なく、SnapCenter VMware プラグインの個別のインスタンスとペアリングする必要があります。
  - SnapCenter VMware プラグインの各インスタンスを個別の Linux VM として導入する必要があります。

たとえば、6 つの異なる vCenter Server インスタンスからバックアップを実行する場合は、6 つのホストに SnapCenter VMware プラグインを導入し、各 vCenter Server を SnapCenter VMware プラグインの一意的インスタンスとペアリングする必要があります。

- VVol VM (VMware VVOL データストア上の VM) を保護するには、まず VMware vSphere 用の ONTAP ツールを導入する必要があります。ONTAP ツールは、ONTAP および VMware Web Client 上で VVol 用のストレージをプロビジョニングして設定します。

詳細については、を参照してください ["VMware vSphere 用の ONTAP ツール"](#)

サポートされる ONTAP ツールのバージョンに関する最新情報については、を参照してください ["NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"](#)。

- SnapCenter VMware プラグインは、Storage vMotion のサポートにおける仮想マシンの制限により、共有 PCI デバイスまたは PCIe デバイス (NVIDIA Grid GPU など) を限定的にサポートします。詳細については、ベンダーが提供している『Deployment Guide for VMware』を参照してください。

◦ サポートされる内容：

リソースグループを作成しています

VM 整合性なしでバックアップを作成する

すべての VMDK が NFS データストアにあり、かつ Storage vMotion を使用する必要がない場合の VM 全体のリストア

VMDK の接続と接続解除

データストアのマウントとアンマウント

ゲストファイルのリストア

◦ サポートされない機能：

VM と整合性のあるバックアップを作成しています

VMFS データストア上にある VMDK が 1 つ以上ある場合の VM 全体のリストア

- SnapCenter VMware プラグインの制限事項の詳細については、を参照してください "[SnapCenter Plug-in for VMware vSphere リリースノート](#)".

## ライセンス要件

次のライセンスを提供する必要があります。	ライセンス要件
ONTAP	次のいずれか： SnapMirror または SnapVault（関係のタイプに関係なくセカンダリデータ保護を行う場合）
その他の製品	vSphere Standard、Enterprise、またはEnterprise Plus リストア処理を実行するにはvSphereライセンスが必要です。リストア処理ではStorage vMotionを使用します。vSphere Essentials または Essentials Plus ライセンスには、Storage vMotion は含まれません。
主な目的地	SnapCenter Standard：VMware上でアプリケーションベースの保護を実行する場合に必要です SnapRestore：VMwareのVMとデータストアのリストア処理のみを実行する場合に必要です FlexClone：VMware VMおよびデータストアでのマウントおよび接続処理にのみ使用します
セカンダリデスティネーション	SnapCenter Standard：フェイルオーバー処理で、VMwareを介したアプリケーションベースの保護に使用されます FlexClone：VMware VMおよびデータストアでのマウントおよび接続処理にのみ使用します

## ソフトウェアサポート

項目	サポートされるバージョン
vCenter vSphere	7.0U1以上
ESXi	7.0U1以上
IP アドレス	IPv4、IPv6
VMware TLS	1.2、1.3
SnapCenter サーバ上の TLS	1.2、1.3 SnapCenterサーバは、VMDKのデータ保護処理を介してアプリケーション用のSnapCenter VMwareプラグインと通信するためにこのプラグインを使用します。
VMware Application vStorage API for Array Integration (VAAI)	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、この設定を使用してリストア処理のパフォーマンスを向上させます。また、NFS 環境のパフォーマンスも向上します。
VMware向けONTAP ツール	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、この設定を使用して VVol データストア (VMware 仮想ボリューム) を管理します。サポートされるバージョンについては、を参照してください " <a href="#">NetApp Interoperability Matrix Tool</a> で確認できます"。

サポートされているバージョンの最新情報については、を参照してください "[NetApp Interoperability Matrix Tool](#) で確認できます"。

## スペースとサイジングの要件

項目	要件
オペレーティングシステム	Linux の場合
最小 CPU 数	4 コア
最小 RAM	最小：12GB 推奨：16GB
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere、ログ、および MySQL データベースの最小ハードドライブスペース	100GB

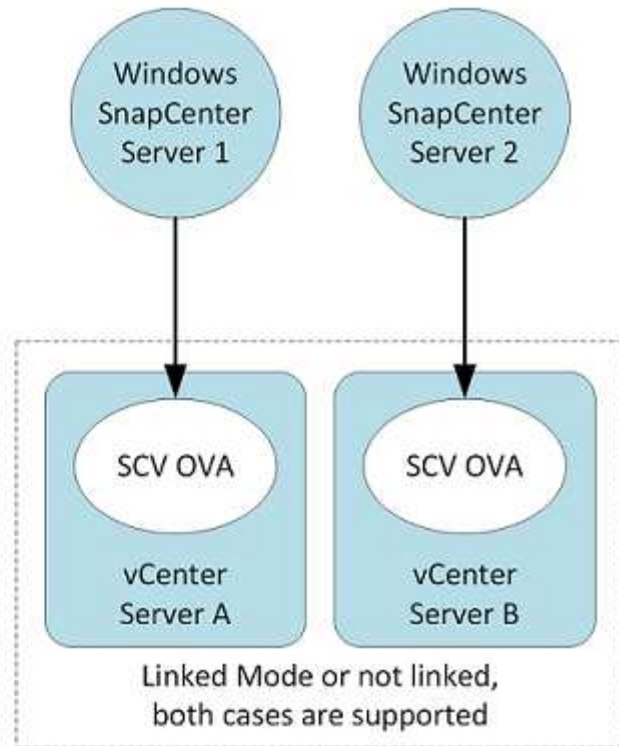
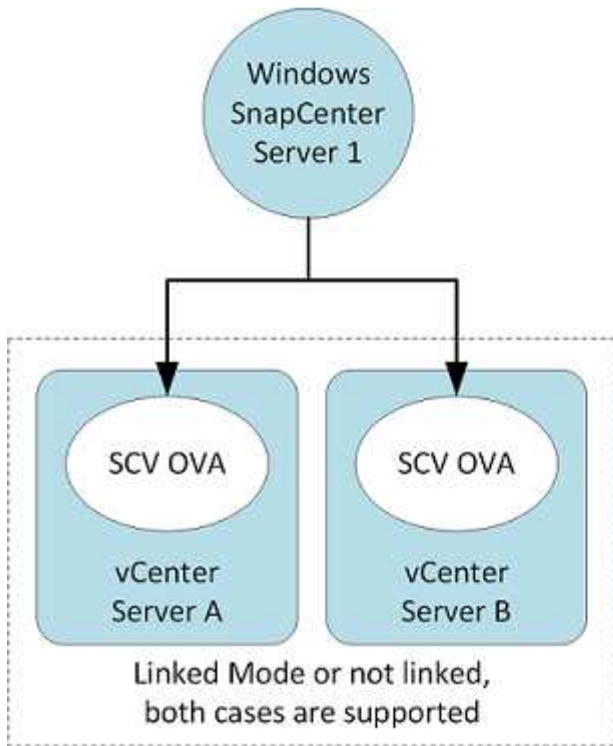
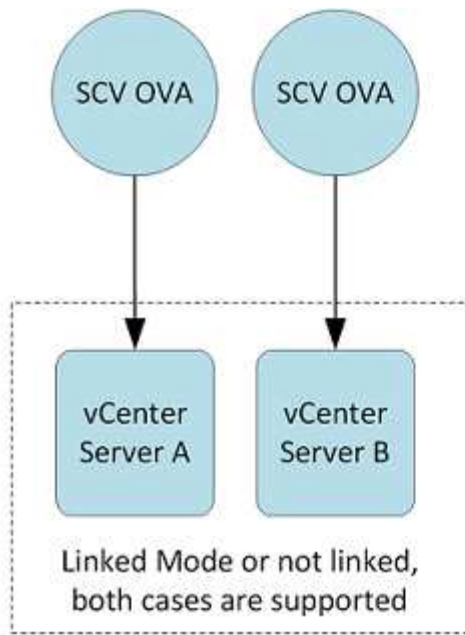
## 接続とポートの要件

ポートのタイプ	事前設定されたポート
VMware ESXi Serverのポート	443 (HTTPS)、双方向 ゲストファイルのリストア機能では、このポートが使用されます。

ポートのタイプ	事前設定されたポート
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のポート	8144 (HTTPS)、双方向 このポートは、VMware vSphere ClientおよびSnapCenterサーバからの通信に使用されます。 8080双方向 このポートは、仮想アプライアンスの管理に使用されます。  注：ポート設定は変更できません。
VMware vSphere vCenter Server のポート	VVol VM を保護する場合はポート 443 を使用する必要があります。
ストレージクラスタまたは Storage VM ポート	443 (HTTPS)、双方向 80 (HTTP)、双方向 このポートは、仮想アプライアンスとStorage VMまたはStorage VMを含むクラスタの間の通信に使用されます。

## サポートされる構成

各プラグインインスタンスでサポートされる vCenter Server は 1 つだけです。リンクモードの vCenter がサポートされます。次の図に示すように、複数のプラグインインスタンスで同じ SnapCenter サーバをサポートできます。



## RBAC 権限が必要です

vCenter 管理者アカウントには、次の表に示す vCenter 権限が必要です。

この操作を実行するには ...	次の vCenter 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入して vCenter に登録	拡張子：拡張子を登録します

この操作を実行するには ...	次の vCenter 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere をアップグレードまたは削除します	内線番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張機能を更新します</li> <li>• 拡張機能を登録解除します</li> </ul>
SnapCenter に登録された vCenter Credential ユーザアカウントに、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのユーザアクセスが検証されるようにします	sessions.validate.session
ユーザに SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのアクセスを許可します	SCV 管理者 SCV バックアップ SCV ゲストファイルのリストア SCV Restore (SCV リストア) SCV ビュー 権限はvCenterルートで割り当てる必要があります。

## AutoSupport

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、プラグインの URL など、その使用状況を追跡するための最小情報を提供します。AutoSupport には、AutoSupport ビューアによって表示されるインストール済みプラグインの表が含まれています。

## ONTAP 権限が必要です

必要な最小 ONTAP 権限は、データ保護に使用する SnapCenter プラグインによって異なります。

### 必要な最小 ONTAP 権限

すべての SnapCenter プラグインには、次の最小権限が必要です。

フルアクセスコマンド： <b>ONTAP 8.3</b> 以降に必要な最小権限
event generate-autosupport-log を指定します
ジョブ履歴の表示 ジョブが停止しました



フルアクセスコマンド： **ONTAP 8.3** 以降に必要な最小権限

LUN

lun create をクリックします

lun delete

LUN igroup add

lun igroup create を追加します

lun igroup delete

LUN igroup の名前を変更します

lun igroup show を参照してください

LUN マッピングの追加 - レポートノード

LUN マッピングが作成されます

LUN マッピングが削除されます

LUN マッピングの削除 - レポートノード

lun mapping show

lun modify を追加します

LUN のボリューム内移動

LUN はオフラインです

LUN はオンラインです

LUN の永続的予約はクリアします

LUN のサイズ変更

LUN シリアル

lun show をクリックします

snapmirror list-destinations

SnapMirror ポリシー追加ルール

snapmirror policy modify-rule

snapmirror policy remove-rule」を実行します

snapmirror policy show の略

SnapMirror リストア

snapmirror show の略

snapmirror show -history の略

SnapMirror の更新

SnapMirror の update-ls-set

バージョン

フルアクセスコマンド： **ONTAP 8.3** 以降に必要な最小権限

volume clone create を実行します  
volume clone show を実行します  
ボリュームクローンスプリット開始  
ボリュームクローンスプリットは停止します  
volume create を実行します  
ボリュームを削除します  
volume file clone create を実行します  
volume file show-disk-usage  
ボリュームはオフラインです  
ボリュームはオンラインです  
volume modify を使用します  
volume qtree create を実行します  
volume qtree delete  
volume qtree modify の略  
volume qtree show の略  
ボリュームの制限  
volume show のコマンドです  
volume snapshot create を実行します  
ボリューム Snapshot の削除  
volume snapshot modify の実行  
ボリューム Snapshot の名前が変更されます  
ボリューム Snapshot リストア  
ボリューム Snapshot の restore-file  
volume snapshot show の実行  
ボリュームのアンマウント

SVM CIFS です  
vserver cifs share create の場合  
SVM CIFS 共有が削除されます  
vserver cifs shadowcopy show  
vserver cifs share show のコマンドです  
vserver cifs show のコマンドです  
SVM エクスポートポリシー  
vserver export-policy create を参照してください  
vserver export-policy delete  
vserver export-policy rule create  
vserver export-policy rule show  
vserver export-policy show のコマンドを入力します  
Vserver iSCSI  
vserver iscsi connection show  
vserver show のコマンドです  
Network Interface の略  
ネットワークインターフェイスフェイルオーバーグループ  
network interface show の略

読み取り専用コマンド： **ONTAP 8.3** 以降に必要な最小権限

Vserver  
SVMピア



サポートされないvserverコマンドに関する警告メッセージは無視してかまいません。

## ONTAP に関するその他の情報

- ONTAP 8.2.x を実行している場合：

としてログインする必要があります vsadmin Storage VMで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの処理を実行するための適切な権限を持っている。

- ONTAP 8.3 以降を実行している場合：

としてログインする必要があります vsadmin または、上の表に示されている権限以上の権限を持つロールを使用します。

- ユーザロールを作成および管理するには、クラスタ管理者である必要があります。ユーザは、クラスタStorage VMまたはStorage VMに関連付けることができます。

## 最小限の vCenter 権限が必要です

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入を開始する前に、最小限必要な vCenter 権限があることを確認する必要があります。

### vCenter Admin ロールに必要な権限

Datastore.AllocateSpaceをクリックします

データストア参照

データストア。削除

Datastore.FileManagementの略

データストア移動

データストア名を変更します

Extension.Register

Extension.Unregister

Extension.Update

Host.Config.AdvancedConfig

Host.Config.Resources

Host.Config.Settings (ホスト設定)

Host.Config.Storageの略

Host.Local.CreateVM

Host.Local.deleteVM

Host.Local.ReconfigVM

ネットワーク割り当て

Resource.ApplyRecommendationを参照してください

Resource.AssignVMToPool

Resource.ColdMigrate

Resource.HotMigrate

Resource.QueryVMotionの略

System.Anonymous (システム匿名)

システム。読み取り

システムビュー

タスク。作成

Task.Update (タスク更新)

VirtualMachine.Config.AddExistingDisk

VirtualMachine.Config.AddNewDisk

VirtualMachine.Config.AdvancedConfig

VirtualMachine.Config.ReloadFromPath  
 VirtualMachine.Config.RemoveDisk  
 VirtualMachine.Config.Resource  
 VirtualMachine.GuestOperations.Execute.  
 VirtualMachine.GuestOperations.Modify  
 VirtualMachine.GuestOperations.Query  
 VirtualMachine.interact.poweroff  
 VirtualMachine.interact.PowerOn  
 VirtualMachine.Inventory.Create  
 VirtualMachine.Inventory.CreateFromExisting  
 VirtualMachine.Inventory.Delete  
 VirtualMachine.Inventory.Move  
 VirtualMachine.Inventory.Register  
 VirtualMachine.Inventory.Unregister  
 VirtualMachine.State.createsnapshot  
 VirtualMachine.State.RemoveSnapshot  
 VirtualMachine.State.RevertToSnapshot

## SnapCenter Plug-in for VMware vCenter に固有の必要な権限

* 特権 *	ラベル
netappSCV。Guest。RestoreFile	ゲストファイルのリストア
netappSCV。Recovery).MountUnmount	mount / Unmount
SCV。Backup.DeleteBackupJobを指定します	リソースグループ/バックアップを削除します
netappSCV。Configure.ConfigureStorageSystems.Deleteの順にクリックします	ストレージシステムを削除
netappSCV。ビュー	表示
SCV。リカバリ。RecoverVMを指定します	VMをリカバリします
netappSCV。Configure.ConfigureStorageSystems.AddUpdateを実行します	ストレージシステムを追加/変更
netappSCV。Backup.BackupNow	今すぐバックアップする
netappSCV。Guest。設定	ゲストの設定
netappSCV。Configure.ConfigureSnapCenterServerを実行します	SnapCenter サーバを設定します
必要なバックアップスケジュールを設定します	リソースグループを作成します

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。